

< IDECものづくりコーディネーターが企業と育んだ >

マッチング等の成果事例集を発行!

～①価格競争脱却に向け自社商品開発、②人手不足対策で製造ライン見直し等、多くの企業が抱える共通課題を掲載～

公益財団法人横浜企業経営支援財団 (IDEC横浜) の「ものづくりコーディネーター (※裏面)」がマッチングなどのきっかけとなり、企業の成果につながった事例集を発行しました。

平成27年3月発行の「事例集」に続き、第2弾となる今回は、(1) 大手連携 (2) 中小連携、(3) 産学連携、(4) 助成金獲得、(5) 販路開拓、の5テーマに分け、24件の事例を紹介しています。

具体的には、「価格競争から脱却するため企業連携により、自社商品を開発した (事例9)」、「人手不足の対策で製造ラインを改善した (事例12)」など、多くの企業にとっても共通の課題を掲載しています。

本事例集をお読みいただき、企業にとって、限られた経営資源 (人、モノ、金、情報など) を補うため、“上手に” IDECの支援メニューを利用し、課題解決に向け、IDECを有効利用していただければ幸いです。

< 事例集概要 >

- ・内容：ものづくりコーディネーターがきっかけとなり、成果につながった支援成果「24事例」を紹介
- ・体裁：A5判 / 32ページ (表紙含む) / カラー / 発行部数 2,000部

※「<http://www.idec.or.jp/renkei/monozukuri/matching/index.php>」でもダウンロード可

< 主な事例 >

- 【(1) 大手連携】 < 事例1 > 伊藤園と4年の歳月をかけ、茶殻配合シートを共同開発
- 【(1) 大手連携】 < 事例2 > 知財交流会で富士ゼロックスと出会い「開放特許」活用
- 【(2) 中小連携】 < 事例9 > 企業連携で生まれたファイルシステムをさらなる企業連携で製品改良
- 【(2) 中小連携】 < 事例12 > 少量多品種生産の熟練工不足に対応し生産機器の安全効率化へと企業連携
- 【(3) 産学連携】 < 事例16 > デザインを数値化、産学連携で136年目の新たな挑戦

- (1) 大手連携 : 7件
- (2) 中小連携 : 6件
- (3) 産学連携 : 4件
- (4) 助成金獲得 : 5件
- (5) 販路開拓 : 2件



【大手連携】(株) ショウエイ 知財交流会で富士ゼロックスと出会い「開放特許」活用



【産学連携】(株) キタムラ デザインを数値化、産学連携で136年目の新たな挑戦



お問合せ先

公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部地域密着支援担当マネージャー 川北 彰子 Tel : 045-225-3725

横浜ものづくりコーディネーター事業のご紹介

IDEC横浜では、平成24年度より、市内製造業の新技术・新製品開発、販路開拓等を支援するため、企業OBなどを「ものづくりコーディネーター（※）」として、企業の現場を訪問し、シーズ・ニーズや課題を収集し、企業マッチング、アドバイスなどを行っています。（※平成30年4月1日現在：27名）

横浜ものづくりコーディネーター事業のご紹介

主な支援メニューは、次のとおりです。

- 1 技術連携支援** 大手企業や中小企業との商談の場を設けて技術連携を促進します。また、大学や研究機関との共同開発、特許取得や利用、共同研究契約に関する相談、助言をおこないます。
- 2 技術移転支援** 大手企業の開放特許に関する情報の提供など、技術移転元企業と中小企業の橋渡しをおこない、経費を抑えながら信頼性の高い製品開発を応援します。
- 3 公的支援施策の紹介** 横浜市の融資や補助金、認定制度をはじめ、国や神奈川県の中企業支援施策など、新分野進出、新製品開発などに役立つ様々な情報を紹介し、活用をお手伝いします。
- 4 専門人材等の紹介** 技術開発や販路開拓、事業計画の策定など企業の課題に応じて技術アドバイザー、研究者、中企業診断士、経営コンサルタント、弁理士等の専門人材を紹介しします。
- 5 各種セミナーの開催、展示会の出展** 大学、研究機関の技術シーズを紹介する産学連携交流サロンや研究会など各種セミナーの開催や展示会を出展つうじて販路開拓の支援などをおこなっています。

